

令和7年度盛岡第二高等学校第2回学校運営協議会 議事録

令和7年10月22日(水)

14:00～15:30

場所:盛岡二高 会議室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校運営協議会委員 8名
学校職員 9名

○日程 13:45 受付 13:00:授業参観 14:00:学校運営協議会(～15:30)

(1) 開会の言葉 (進行:副校長)

(2) 会長挨拶 (会長)

朝二高前を通った際に挨拶運動が行われていたようで、立っていた先生方に感謝している。インフルエンザが流行している中、子供たちは健康管理に気を付けながら楽しく過ごしているのではと思っている。

(3) 校長挨拶 (校長)

四月から順調に、様々な行事がありながらも生徒たちは頑張っている。三年生はいよいよ年内入試にチャレンジしており、雰囲気もそちらにシフトしているところである。

年度半分が過ぎ、学校でも反省している点が様々出て来ていて、本日の資料にそれが掲載されているので、是非忌憚のないご意見を頂戴したい。

(4) 令和7年度中間報告

ア 学校経営計画中間報告(校長)

4 目指す学校像

今年度の重点目標

ア 授業の充実と基礎学力の定着を図る

イ キャリア教育の充実により、進路希望の実現を図る

ウ バランスのとれた教育活動を実践し、主体性と協調性の育成を図る

エ 学校いじめ対策組織を有効に活用し、組織的にいじめの未然防止・適切な対応にあたる

オ 地域とともに歩む学校として、開かれた学校づくりを推進する

カ 生徒を個々として尊重し不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する

委員 : グループエンカウンターとは何か。

校長 : 入学してきた生徒のためにスクールカウンセラーが主催して、集団作りやアイスブレイキング的なものとして実施している。一学年全員が参加したので、良い結果が得られた。

イ 各課中間報告(各課主任)

【総務課】

1 庶務・行事等の諸活動を円滑に運営する。

・前半の予定については順調に行われている。

2 PTA(白梅振興会)活動の活性化を図る。

・活発に行われている。二高祭、研修旅行、PTA総会等、参加者は年々増加傾向にある。

3 創立130周年に向け、資料を整備する。

・令和9年の130周年事業に向けて、12月に記念事業協賛会が発足する。

※同窓会について

・会計が厳しく、今年度から会報の発送に制限を設けることになっている。

【教務課】

1 生徒の学力向上

- ・7月の学習状況調査について、目標時間との開きが大きい。学習時間は年々減少傾向にあるが、ICTの導入等もあり、単純に時間だけを比較できないところもある。今後の課題の一つ。

委員：文化講演会がとても良かった。卒業して10年未満の講師だが、紆余曲折を経て動物公園で頑張っていることを淡々とお話ししてくださり、生徒にも参考になったと思う。

委員：PTA入会式がPTA説明会に名称変更を予定しているのは、PTAの加入が強制ではないからなのか。

総務課：その通りで、県高P連事務局から要請があった。

委員：同窓会報の取り組みについて教えてほしい。

総務課：今年度から、過去3年間で寄付をしてくださった方にのみ会報を送付することになった。昨年度までは全会員（11,000人ぐらい）に送っていたが、寄付額の減少と郵送費の高騰により継続が困難になったためである。今年度は1,650通程度を予定している。

同窓会長：卒業直後3年間は送付することになっている。HPを利用することも考えている。

委員：家庭学習時間についての現状と、高校でのICTを利用した課題提出について伺いたい。

副校長：学習時間は、近年減少傾向にある。ICTを通じた課題提出については、2年生が実施している。

進路課：数学では、生徒への連絡や課題の出題はteamsで行い、生徒が写真を撮ってロイロノートで提出したものを我々の方でチェックしている。返し忘れが無いことと出した出さないが明確である点が良いところだ。生徒の実際のノートを見ることができないのがデメリットだが、2年生では、国語・英語でもこの方式でやっている。また、毎日一題ずつ生徒に計算問題を解かせて夕方までに提出するという日中課題も、数学では実施している。

委員：生徒たちは、他に支障があって忙しくて学習できないのか、それとも学習習慣ができていないのか、どちらなのか。

副校長：調査項目の中のスマホの利用時間を見ると、学習時間の倍以上になっている。一方で、部活動に時間を取られている生徒もいるようだ。

委員：行事を減らす他に、先生方の負担を軽減するような措置は考えられないか。

副校長：特に課題の点検などで、生徒の取り組みの成果物に教員が応えるというのが大切なこととは思いつつ、負担軽減は必要と感じる。だが、残念ながら進んではいけないので、何か方策があればご意見を頂きたい。

校長：各教材会社で、ICTを利用した問題集などが増えているということで、それらを活用する方法もある。ただし、それには費用負担の増が必要になるので、注意が必要だ。いずれにせよ、働き方改革について、整理が必要だろう。

【生徒指導課】

※行事の精選について

- ・生徒への負担を考慮しつつ、各所から意見を聞きながら合唱コンクールについて検討中。

1 生徒規律の確立

2 生徒会活動・部活動

3 安全指導

- ・自転車乗車時のヘルメットの使用について、市内の高校で足並みを揃えたい。

※生徒アンケートについて

- ・今の制服に満足しているかという項目について、生徒は不満及びやや不満が圧倒的多数で、保護者は意見にバラつきがある。
- ・不満な点は、生徒・保護者共にデザインについて。
- ・生徒と職員は変更した方が良いという意見が支配的だが、保護者の意見はバラついている。

【進路指導課】

- 1 各種講演会等の充実
 - ・大学模擬講義を実施した。
 - ・県外大学訪問は、秋田大、秋田県立大、国際教養大に職員を派遣した。
- 2 進路指導の充実
 - ・看護・保育体験、外部セミナー等に参加を希望する生徒が多い。
 - ・大学入学共通テストが今年度から WEB 出願になる。

委員 : 自転車のヘルメットの義務化をお願いしたい。

【保健厚生課】

- 1 健康管理および保健指導の徹底
 - ・健康教室以外の本年度の行事はすべて終了した。
- 2 保健衛生および安全管理指導の徹底
 - ・校内避難訓練は、例年とは出火場所と避難場所を変えて実施した。

【図書課】

- 1 蔵書・資料の充実と読書の促進
 - ・読書感想文コンクールの取り組みについて検討する。
- 2 新聞コーナーの充実と活用の推進
 - ・新聞切り抜きによるミニプレゼンテーションを実施している。

【教育相談課】

- 1 教育相談活動の充実を図る。
 - ・今年度は昨年度に比べて相談件数が減少している。支援員の存在が大きい。
- 2 生徒理解に努め、支援を必要とする生徒への援助を模索する。
 - ・カウンセラーによる健康教室を実施した。

【情報・研究課】

- 1 情報ネットワーク機器等の管理
- 2 校内授業研究会の企画
 - ・全教職員が年一回授業公開を行っている。
- 3 学校案内、学校ウェブサイトの制作・管理
 - ・毎日更新し、閲覧数が大幅に伸びている。

委員 : 支援員は毎日来るのか。

教相課 : 毎日ではないが、年間で決められた日数来て頂いている。

委員 : 外部機関に紹介とあるが、どういう機関か。

教相課 : 大体は医療機関である。ただし、どのような相談機関があるかを年度初めに生徒に配布している。

(5) 意見交換

委員：ICTの活用によって教職員の働き方改革に結び付くのは良いかも知れないが、携帯を使う時間が長いほど学力が低下するという東北大で脳科学を研究する教授の発言もあることから、書かせる学習も場合によっては必要と思う。大学に入学しても、基礎的な計算能力が欠けていたり、コミュニケーション能力が不足したりしている学生が増えているので、そうした事情を考慮しながら高校での教育を進めてほしい。

委員：OGが抱く二高独自の魅力やイメージが、在校生と一致しているのだろうかと自問している。二高は「老舗」であり、その良さを生かしつつ新しいものを取り入れて発展していくにはどうすれば良いか、と考えていかなければならないと思う。今の時代の生徒たちが求めるものと、何かが違っているということもあるかもしれない。

委員：県内の公立高校の募集状況が発表になったが、学校により多くの生徒を惹きつけるためには、進路実現への期待があることが一番で、その次に制服や部活動などの要素がある。新しい制服への期待を持つ生徒もいるのではないかな。

委員：大学生に教育現場に於ける「ウェルビーイング」についてディスカッションさせたところ、教員が心身ともに健康で、仲良くやり甲斐を感じていることが大事、という意見が結構多かった。教員が元気で明るい笑顔で接していると、教職を目指す生徒も増えると思うのではないかな。コロナ後に学校行事が減ったりしているが、必要なものは残してほしい。学校運営協議会に出席させるなどして、生徒の意見をもっと聞くのはどうだろうか。

委員：この資料を作る労力も大変だと感じた。義務教育とも共通するが、結局授業が楽しいかどうかということに尽きる。働き方改革についても、行事等でも様々な困難が生じる中でマンパワーでやりくりしている状況であり、そこに一石を投じるのはコミュニティ・スクールの存在しかないのではないかと考えている。学校評価をネット利用にすると回答率が下がる傾向にあるが、どうしたらよいものかな。

委員：高校生として、勉強が第一なのはその通りだが、高校生だからできることがある。様々な体験を通じて得たものが将来に繋がることもあるだろう。価値観が多様化する中で、情報が溢れているからこそ、主体的な活動が大切だ。人口減少の中で、岩手と繋がる若い人材を育ててほしい。

委員：学校の教職員を外部から支援するにはどうすればいいか、難しい問題で、ジレンマを感じる。邪魔になってもいけないので、周囲の第三の大人も、生徒に接する上での学びをしっかりしなければと思う。

委員：教員の方々の疲労が慮られる一方、生徒たちの学習時間が減っているという状況を、残念に思う。制服についてのアンケートを見て、今の時代に合っていないのであれば、変えるというのも一つの考え方であろう。行事を減らすことによって、学校生活がつまらなくなるのではないかな、と心配している。

(6) その他

(7) 閉会